

月刊



# とぴあす vol.108

毎月第3木曜日発行  
令和8年3月19日

特集

第18回やまがた市民活動まつり

学生ボランティアによる取材レポート



令和8年4月より山形市市民活動支援センターの会議室をWEBで予約できるようになります。WEB予約ができるのは当センターの登録団体様のみで事前の登録が必要です。登録の案内や今後の会議室予約の窓口対応をスムーズに行う為タブレット端末を導入しました。ご興味のある方は是非お問い合わせください。お待ちしております。

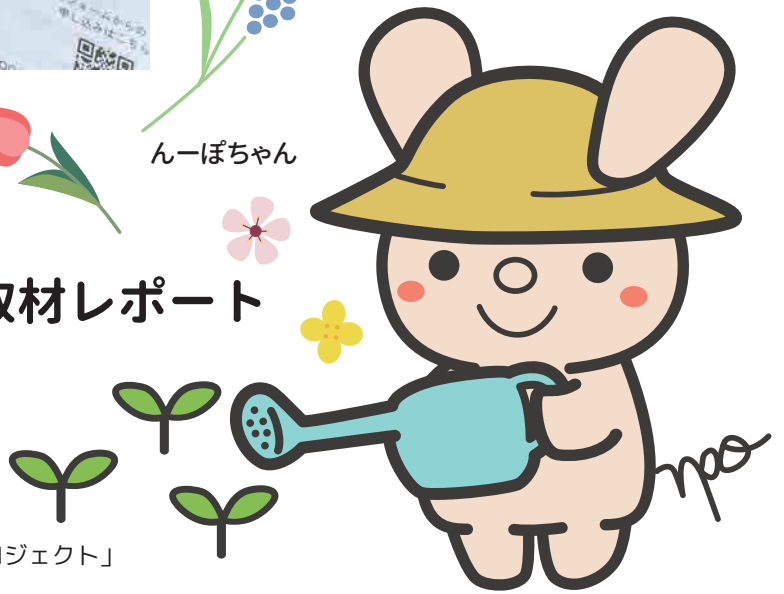
山形市市民活動支援センター  
スタッフブログ  
更新中!



## 今号の内容

- **特集：**  
第18回やまがた市民活動まつり  
学生ボランティアによる取材レポート
- **イベント・講座情報「んーぽ新聞」**  
センターや、市民活動・NPO団体が開催するイベント情報をお届けします！
- **とぴあす連載コーナー**  
市民活動ひとくちコラム 「惺山高校『パトラン』プロジェクト」  
センター職員のいちおし！ vol.90

んーぽちゃん



## 山形市市民活動支援センターとは

様々な分野の市民活動やNPO、ボランティアなど、公益的な活動をしている人、はじめたい人たちを応援する施設です。

NPO・市民活動に関する各種相談の他、山形市を中心に活動する非営利活動団体を対象に、会議室、印刷コーナー等を提供しています。

利用対象や利用方法の詳細については当センターまでお問い合わせください。



# ボランティアから見た 第18回やまがた市民活動まつり

## 学生ボランティアによる取材レポート

2月15日、第18回やまがた市民活動まつりが開催されました。  
参加したボランティアの方に参加団体のお話を取材してもらい、  
原稿を作成していただきました。



### なぜ市民活動団体が活動しているのか、 実際に話を聞いて見えた課題

参加団体に話をお聞きし、社会には想像以上に様々な課題があり、その解決または改善を目的とする団体があることを知りました。団体の存在を普段意識する機会は少ないかもしれませんが、将来的に誰もが関わりうる事柄を取り扱っています。しかし、その団体の方達の高齢化が進み、新しい世代への交代に課題を感じている方も多いです。各団体の存在とその活動目的を知ることは、団体の維持のためだけでなく一般の方にも大きな利益があります。そして一般の方が団体のことを知るために、「市民活動まつり」の役割は大きくなると思いました。



▲様々な分野で活動する団体が、  
展示ブースで活動内容の紹介を  
行いました。

### 活動の継続には、若者の力が必要です

第18回の特徴は、大学生、専門学校生に加えて、高校生もボランティアに参加し、さらに檜山高校の生徒がパトランの活動紹介のために参加したことにより、若年層がより多く参加していたことでした。その一方で、各団体の話を積極的に聞いていたのは壮年期以上の方が多い印象を持ちました。一般的に若者には社会問題を身近に感じる機会が少ないため、社会参画への意識が醸成されにくいからだと考えられます。市民活動まつりに関わる若者が同世代の人々に対し社会問題や市民活動団体への興味を促すことができれば、活動団体の維持に貢献できるかもしれません。



▲パトラン（檜山高校）  
の展示ブース



▲センターの展示ブースで  
説明を聞くボランティア



▲ステージ発表の様子

### 必要な人に支援を届けるために 活動の大切さを伝えたい

今回は、活動を拡大するために行政のサポートを必要とする団体や、支援の対象者にうまくアプローチできない団体が存在することが取材を通してわかりました。特に後者のような団体が存在するのは、要支援者が声を上げるのに消極的であること、また、要支援者に支援団体の存在が届いていないことも考えられます。今後支援の輪をさらに広げるためには、市民活動まつりの宣伝を含めた発信力の強化と一般市民の社会参画への意識づけが必要であり、それには活動団体と行政、学校など様々な機関との連携が重要になると感じました。



▲閉会后、参加団体とボランティア  
の皆さんで交流会を行いました

取材：水戸悠介さん  
山形大学大学院在学



### 参加したボランティア・学生の方からの感想

- ・皆さん優しくて楽しく活動できた ・普段関わらない人と話せてよかった
- ・気軽に団体の皆さんの活動を知れ、いい経験になった
- ・自分たちの取り組みが大きな事だと知ることができた
- ・山形市内でこんなに活動しているのだと新しい発見や気づきがあった
- ・いろいろな活動に触れられる魅力的な取り組みだと思った

市民活動を取り巻く課題について、  
学生の目線でまとめていただきました。  
ご協力ありがとうございました！



「やまがた市民活動まつり」はセンター利用登録団体有志で構成される山形市市民活動支援センター連絡協議会の主催で毎年開催している NPO・市民活動団体による活動紹介の場です。

イベント・講座情報

## んーぽ新聞

センターの講座や、センターに登録している市民活動団体の活動など、市民活動・NPO・ボランティア情報をお届けします!



最新情報はセンターウェブサイトをチェック!!

## センターからのお知らせ

第54回哲学カフェ  
～善と悪の境界線～

毎月1回開催の哲学カフェ、今回のテーマは「善と悪の境界線」。近頃は世界的な出来事から身近な日常まで、善と悪とは簡単には言い切れないことが多くなっているように感じます。

あなたにとっての善悪の基準を教えてください。

■日時 2026年4月8日(水) 14:00～16:00

■場所 山形市市民活動支援センターふらっと  
(霞城セントラル22階)

■申込 7名(4月1日受付開始)

## とびボラメンバー募集のお知らせ

ボランティア活動を通じて市民活動にふれてみませんか?

山形市市民活動支援センターでは、毎月発行している情報紙の発送準備をしていただくボランティアを募集しています。年齢、性別問わず様々な方が活動されています。初めてボランティアをする、NPO情報を知りたいという方はお気軽にお申し込みください。

■活動日 毎月第3水曜日 15:00～17:00  
※次回、4月15日(水)■場所 山形市市民活動支援センター ふらっと  
(霞城セントラル22階)

■定員 8名程度(先着順)

センター主催の講座・イベント情報の  
詳細はこちらからご覧いただけます

## 登録団体からのお知らせ

## 令和7年度山形いのちの電話 公開講座

ホームレス状態にあるひとを支援する団体を立ち上げ、現在はその仲間と立ち上げたクリニックで職員として活動を続ける精神科医の森川すいめい氏をお呼びして「答えのない時間に寄り添うということ」をテーマに公開講座を開催します。

■日時 2026年3月29日(日)  
10:00～12:00(開場9:30)

■場所 遊学館 3階 第1会議室(山形市緑町1-2-36)

■定員 80名(先着順)■申込期限 3月19日(木)まで

■受講料 無料

●連絡先/(社福)山形いのちの電話 事務局

TEL 023-645-4377

FAX 023-645-7795

※事務局執務時間/平日10～16時



## 登録団体からのお知らせ

## ハコガタ発掘体験

箱の中の小さな遺跡を発掘調査して、さいごは報告書を完成させよう!  
どんな遺跡・遺物が見つかるかな?

■期間 2026年3月24日(火)～28日(土)

9:30～11:00

13:00～16:00

■場所 天童市西沼田遺跡公園

(天童市大字矢野目3295番)

■対象 小学生以上

■定員 時間内に随時受付します。事前予約不要

※一度に体験できる人数には限りがあります。

順番にご案内しますがお待ちいただく場合がございます。

■料金 200円

●連絡先/天童市西沼田遺跡公園

(NPO法人 西沼田サポーターズ・ネットワーク)

TEL 023-654-7360

「チューリップちゃん」「彼方の家族」  
特別上映+監督トーク

東北芸術工科大学出身の映像作家による話題の作品を特別上映します。各作品終了後には、監督と彼らの学生時代の指導教官を務めた映画監督の中村高寛氏を迎え、ゲストトークを行います。

■日時 2026年3月29日(日)

「チューリップちゃん」14:00～

「彼方の家族」16:00～

■会場 やまぎん県民ホール3階 スタジオ2

(山形市双葉町1-2-38)

■料金 (2作品通し)

一般前売 1,000円/当日 1,300円

小中高生前売 500円/当日 800円

## 【同時開催】みんなの映画工房

映画のフィルムをつくってみよう!

■日時 2026年3月29日(日)

■会場 やまぎん県民ホール3階 練習室3

(山形市双葉町1-2-38)

■料金 小中高校生 500円 一般 1,000円

■対象 小学校高学年～おとな 15名(申込先着順)

■申込み締切 3月23日(月)

■申込フォーム▶



●連絡先/認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭

TEL 023-666-4480

## 野良猫の相談会

動物愛護の精神に基づき、野良猫の殺処分ゼロをめざして活動している野良猫クラブでは毎月第3日曜日に野良猫の相談会を開催しています。近所の野良猫を保護したい、猫の糞尿被害で困っている方など、猫が好きの方はもちろん、嫌いな方も野良猫に関するお悩みがありましたらなんでもご相談ください。



■日時 毎月第3日曜日 10:00～12:00

(4/19、5/17、6/21、以下継続開催)

■場所 山形市市民活動支援センター 会議室B

(山形市城南町1-1-1 霞城セントラル22階)

●連絡先/野良猫クラブ(代表 菅井恵子)

TEL 023-631-1281



とびあす 連載コーナー

—市民活動—

# Q&A

Q. 団体のメンバーやボランティアはどのように集まるの？

A. 様々な方法がありますが、まずは活動内容の発信が大切です

よく見かけるケースでは、すでに行われている活動に参加し、そこで出会った人に自分が考えている取り組みを紹介して関心があるか聞いてみる方法や、少人数で小さな集まりを試験的に開き、活動の内容や目的を紹介しながら参加を呼びかける方法があります。ホームページやSNSなどインターネットを活用するのも有効な方法です。いずれの方法でも、「どんな目的で活動しているのか」「どんな人が参加している団体なのか」は、協力を検討する人にとって大切な判断材料になります。信頼関係が基盤になるNPOだからこそ、日頃から活動内容を分かりやすく発信していくことが大切です。

## 市民活動ひとくちコラム

『パトラン』プロジェクト  
担当 山本一人 さん

『パトラン』とは、防犯パトロールとランニングを掛け合わせた造語で、子どもや女性、お年寄りが安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、走りながら安全を守る新しいスタイルの防犯活動です。

惺山高校としての『パトラン』とは、授業の一環としてパトランを行い、高校生が自ら地域を守るという意識をもった探究活動です。通学路や公園、住宅街などを走ったり歩いたりしながら見回ります。犯

罪者などを捕まえる活動ではなく、不審者や危険な場所がないかを確認し、声かけや見守りを行うことが目的です。また道路や街角に落ちている星屑(パトラン界隈ではゴミのことを指します。)を拾うなどの美化活動にも取り組みます。高校生がパトランナーとして活動することで、地域に安心感と親近感を与え、より防犯意識を高める効果もあります。

●連絡先/惺山高等学校  
✉ kz-yamamoto@seizan.ed.jp (山本)



## センター職員のいちおし！

スタッフが気になることやおすすめしたいことなどをご紹介します

### vol.90 被災地デイズ

企画・編集 GENERATION TIMES / 編著 矢守克也 発行 弘文堂

「あなたは避難所運営のリーダーです。避難者は3,000人いるのに、非常食は2,000食しかありません。あなたはどう配布しますか？」「あなたはボランティアセンターの担当者です。被災地区の世話役は『ボランティアは不要』と言う一方で、個別の住民からは活動依頼が届いています。あなたならどう判断しますか？」——本書は、大地震発生後に時系列で

起こりうる場면을提示し、読者に選択を問いかけます。どの判断も簡単に正解とは言えませんが、実際の災害時には直面する可能性の高い問いばかりです。あの震災から15年。自分ならどう行動するのかを改めて考えるために、ぜひ手に取ってほしい一冊です。(川部)



## 発行：山形市市民活動支援センター

〒990-8580 山形市城南町 1-1-1 霞城セントラル 22・23階

電話：023-647-2260 FAX：023-647-2261 メール：center@yamagata-npo.jp

・開館時間 / 9時半～21時

・休館日 / 月曜日、祝日(月曜日が祝日のときは火曜日)、年末年始

★印刷と相談の方は1団体2名、2時間までの駐車券補助があります。

(霞城セントラルパーキング・山形駅東口交通センター駐車場をご利用ください)



編集後記 | まつり当日はセンターブースでセンターの紹介をしていました。春になって何か始めたい、という方、センター主催のNPOの入門講座に参加してはいかがでしょうか(後藤)

山形市市民活動支援センターだより とびあす  
担当：後藤・川部・田中